

二一九五番

雁かりがねの 声こゑ聞くなへに 明日あすよりは 春日かすがの山やま
は もみちそめなむ

二一九六番

しぐれの雨あめ 間まなくし降ふれば 真木まきの葉はも 争あらし
ひかねて 色いろ付きにけり

二一九七番

いちしろく しぐれの雨あめは 降ふらなくに 大城おほきの
山やまは 色いろ付きにけり

二一九八番

風かぜ吹けば 黄葉もみぢ散りつつ すくなくも 吾あがの松原まつはら
清きよからなくに